

平成23年度「東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業」実績報告書

1. 事業の概要		
(1)事業名(全角30字以内)		
再生可能エネルギー・スマートグリッド分野技術者育成事業		
(2)メニュー・分野		
	メニュー	分野
	1-① 産業界の高度化等において必要な専門人材育成のための人材育成コース試行導入等【短期】	
○	1-② 産業界の高度化等において必要な専門人材育成のための人材育成コース試行導入等【中長期】	
	2 被災地においてニーズが高く供給が不足する分野の教育支援	
	3 専修学校等の就職支援体制の充実強化	—
		「その他」分野名
		再生可能エネルギー・スマートグリッド
(4)事業実施期間		
平成24年1月16日～平成24年3月31日		
(5)事業の概要		
<p>工業分野の専門学校として、これからの成長分野である太陽光や風力発電等の再生可能エネルギー、被災地の街づくりにおいて推進が見込まれるスマートグリッド分野についての関連する知識や技術を習得できる中長期的な人材の育成教育プログラムの開発・開設を産官と連携し開発・実証する。</p> <p>①人材ニーズにあった必要な知識・技術を検討し具体的な教育プログラム・教育モデル(案)を開発する。 ②上記プログラムを本校既存学科に反映させ、実証を行い推進協議会で評価し、必要に応じて改善する。 ③改善したカリキュラムの実証を繰り返し人材ニーズにあった新しい教育プログラムを完成させる。 ④完成した教育プログラムを全国に普及する。</p> <p>平成23年度は上記①を推進協議会で検討し策定する。 平成24年度以降に上記②～④を検討し実証する。</p>		
2. 文部科学省との連絡担当者		
省略		

3. 事業内容の説明

(1)事業の内容について(推進協議会における具体的な取組内容)

- 第1回推進協議会・第1回分科会 2/3 事業概要の説明
委員の紹介・福島県取り組み・人材育成の必要性・求められる技術者像
- 第2回分科会 2/10 試行講座内容検討
- 第2回推進協議会 2/21 試行講座1週目の報告と協力依頼
- 第3回分科会 2/24 試行講座2週目の報告
- 第4回分科会 3/2 試行講座3週目準備状況
- 第3回推進協議会 3/9 試行講座実施報告 視察報告 実績報告に向けての原案
- 第4回推進協議会 事業報告会
各会議の総括 試行講座報告 学生アンケート報告
プログラム案の検討・評価

(2)教育プログラム・教材の開発内容等

【1】短期プログラム

本校で3～12時間で催行することができる、幅広い年齢層を対象とする平易な内容

(1)やさしい自然エネルギー (2)太陽光発電入門 (3)風力発電入門

【2】中期プログラム

平成24年度に本校が実施・実証する再生可能エネルギーに対応した電気施工技術者育成プログラム。

(1)太陽光発電

(2)風力発電

(3)太陽光発電・風力発電

上記についての

①カリキュラム履修要綱②時間割③各科目シラバス④協力企業⑤オプション⑥教材・テキスト

【3】長期プログラム

(1)履修科目:再生可能エネルギー

(2)専門学校1年課程学科:新エネルギー工学科

(3)実証講座等の内容

【太陽光発電】

(1)学科:24時間

再生可能エネルギー・スマートグリッド・太陽光発電基礎・安全衛生・太陽光発電システム施工

(2)実習:15時間

太陽光発電システム施工

【風力発電】

(1)学科:13時間

風力発電の仕組みと実際・風力発電基礎・風車の利用と風のエネルギー・風力発電・風力の変換と応用

(4)事業実績について(地域の人材ニーズに対しての具体的な事業成果)

■実証講座 期間:2月13日～3月8日 対象:本校 電気電子工学科1年生 10名

■地域の人材ニーズにあった必要な知識・技術を持つ技術者を育成するための具体的な教育プログラムが推進協議会で検討・開発された。

■産学官連携が構築できた。(福島県産業創出課、福島大学、日本大学工学部、太陽光発電システム会社、風力発電エンジニアリング会社 他)

■試行講座を受講した学生に再生可能エネルギー分野に対する興味関心を持たせることができ、同分野を視野に入れて就職活動をする意識が生まれてきた。

■事業成果報告書を約800件に送付

専門学校、実業系高校、大学等 500部

商工会議所等 100部

産業界(販売店、電気工事業)等 200部

(5)成果の普及・平成24年度以降の事業展開(自校・他校・企業・団体・地域との関係)

平成24年度以降、本校既存学科に反映させ実証を行い、推進協議会による評価を実施し、必要に応じて改善し、完成した新プログラムは全国の専門学校に普及する。

○産学官連携を強化し推進協議会をより充実させる

○さらに発展させたプログラムで実証講座を構築する

○専門学校教員を研修に派遣するなど同分野のスペシャリストを養成する

4. 事業のスケジュール

	1月					2月					3月				
	初旬	上旬	中旬	下旬	末	初旬	上旬	中旬	下旬	末	初旬	上旬	中旬	下旬	末
協議会				●				●		●					●
分科会				●		●			●			●			
調査				●	●	●									
開発						→									
実証講座											→				
成果発表会															●

5. 事業実施体制

(1) 推進協議会の構成

組織名	代表者	役割等	都道府県
福島大学共生システム理工学類 教授	佐藤 理夫	プログラム評価	福島県
日本大学工学部機械工学科準教授	西本 哲也	プログラム評価	福島県
福島県産業創出課	関根 義孝	プログラム評価	福島県
株式会社イービーシステム	高村 明	プログラム開発	福島県
株式会社イービーシステム	羽田 篤史	プログラム開発	福島県
新潟工科専門学校	仁多見 透	プログラム開発	新潟県
専門学校国際情報工科大学校	水野 和哉	運営責任者	福島県
専門学校国際情報工科大学校	村上 史成	運営担当者	福島県
専門学校国際情報工科大学校	佐藤 慶多	プログラム開発	福島県
専門学校国際情報工科大学校	和田 秀勝	プログラム開発	福島県
専門学校国際情報工科大学校	内田 章	プログラム開発	福島県
IMAGE STUDIO	村山 隆	コーディネータ	福島県

(2) 分科会の構成(設置は任意)

組織名	代表者	役割等	都道府県
専門学校国際情報工科大学校	水野 和哉	運営責任者	福島県
専門学校国際情報工科大学校	村上 史成	運営担当者	福島県
専門学校国際情報工科大学校	佐藤 慶多	プログラム開発	福島県
専門学校国際情報工科大学校	和田 秀勝	プログラム開発	福島県
専門学校国際情報工科大学校	内田 章	プログラム開発	福島県
新潟工科専門学校	仁多見 透	プログラム開発	新潟県
株式会社イービーシステム	高村 明	プログラム開発	福島県
株式会社イービーシステム	羽田 篤史	プログラム開発	福島県
IMAGE STUDIO	村山 隆	コーディネータ	福島県

(3) 事業実施協力専修学校・企業・団体等

組織名	代表者	役割等	都道府県
福島県産業創出課	関根 義孝		福島県
福島大学共生システム理工学類	佐藤 理夫		福島県
日本大学工学部機械工学科	西本 哲也		福島県
新潟工科専門学校	仁多見 透		新潟県
IMAGE STUDIO	村山 隆		福島県
株式会社イービーシステム	高村 明		福島県
有限会社東北ヤマニガス	國分 文男		福島県
株式会社アイ・シー・オー	関根 彰		福島県

(4)事業の推進体制(図示)

